

記入例 (営業所等の追加)

様式第18 (第33条関係)

捨印を押す場合、
印省略の部分に代表印を押して
ください。

経済産業大臣 殿

(特定) 石油販売業変更届出書

提出する年月日

※営業所等を追加した後、
速やかに提出してください。

○年 ○月 ○日

届出者 商号、名称 有限会社○○
氏 名 ○○ ○○
(法人にあつては、代表者の氏名)
住 所 ○○県○○市○○○丁目○

印省略

石油の備蓄の確保等に関する法律第27条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

変更事項	給油所の追加 / 販売所の追加
変更前	・追加する給油所或いは販売所等がわかりやすいように記入してください。 例) 変更前 25店舗 変更後 26店舗 (開始する店舗名、住所、電話番号) ・書き切れない場合は別紙にてご提出いただいても構いません。
変更後	
変更(予定)年月日	令和○年○月○日
変更の理由	※○○からの譲受、事業拡大など
設備の処分に関する事項	※記入する必要はありません

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
 - 2 変更事項の欄には、法第27条第1項第1号から第6号までのうち、変更する事項を記載すること。
 - 3 法第27条第1項第3号から第5号に規定する事項を変更する場合は、「変更年月日」を「変更予定年月日」とすること。
 - 4 「密接な関係を有する石油精製業者の商号、名称又は氏名」又は「石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力及び所在地」を変更する場合は、当該変更の明細を記した書面を添付すること。
 - 5 「設備の処分に関する事項」の欄は、営業所の所在地を変更する場合に限り記載すること。

※販売形態に沿って以下のように単位、油種等を追加、変更しても構いません。

(第2面)

3 主たる販売施設の概要																									
営業所の名称	〇〇営業所																								
貯蔵設備・計量器 (可搬式も含む。)	タンク、計量器など貯蔵設備が無い場合は斜線で消してください。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>(油種)</th> <th>(タンク総容量)</th> <th>(タンク基数)</th> <th>計量器数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 揮発油</td> <td>KL</td> <td>基</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>b 灯油</td> <td>〇KL</td> <td>〇基</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>c 軽油</td> <td>KL</td> <td>基</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>d 石油ガス</td> <td>〇トン</td> <td>〇基</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>KL</td> <td>基</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table>	(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数	a 揮発油	KL	基	基	b 灯油	〇KL	〇基	基	c 軽油	KL	基	基	d 石油ガス	〇トン	〇基	基	e	KL	基	基	
(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数																						
a 揮発油	KL	基	基																						
b 灯油	〇KL	〇基	基																						
c 軽油	KL	基	基																						
d 石油ガス	〇トン	〇基	基																						
e	KL	基	基																						
営業所の名称	〇〇給油所																								
	同時給油できるノズルの本数																								
貯蔵施設・計量器 (可搬式も含む。)																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>(油種)</th> <th>(タンク総容量)</th> <th>(タンク基数)</th> <th>計量器数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 揮発油</td> <td>〇 KL</td> <td>〇 基</td> <td>〇 基</td> </tr> <tr> <td>b 灯油</td> <td>〇 KL</td> <td>〇 基</td> <td>〇 基</td> </tr> <tr> <td>c 軽油</td> <td>〇 KL</td> <td>〇 基</td> <td>〇 基</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>KL</td> <td>基</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>KL</td> <td>基</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table>	(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数	a 揮発油	〇 KL	〇 基	〇 基	b 灯油	〇 KL	〇 基	〇 基	c 軽油	〇 KL	〇 基	〇 基	d	KL	基	基	e	KL	基	基	
(油種)	(タンク総容量)	(タンク基数)	計量器数																						
a 揮発油	〇 KL	〇 基	〇 基																						
b 灯油	〇 KL	〇 基	〇 基																						
c 軽油	〇 KL	〇 基	〇 基																						
d	KL	基	基																						
e	KL	基	基																						
4 主たる仕入先	〇〇株式会社 (元売、卸業者等を記入)																								
5 販売しようとする石油の種類	揮発油、灯油、軽油、液化石油ガス																								
6 事業開始予定時期	令和〇年〇月〇日																								

やむを得ず事業開始後に提出する場合は、事業を開始した年月日を記入してください。

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 - 2 「主たる販売施設の概要」は営業所ごとに記載すること。
 - 3 「主たる販売施設の概要」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第2面の次に添付すること。

1つのタンクに異なる油種が仕切られている場合、各々の油種を1基と数えます。下記のような場合、
 揮発油のタンクは容量20+30=50KL、基数2基
 灯油のタンクは容量10KL、基数1基
 軽油のタンクは容量10+10=20KL、基数2基 となります。

